

1月・教皇さまの意向のために祈りましょう

- ①一般の意向：若者と社会的コミュニケーションとメディア
- ②宣教の意向：キリスト者の一致
- ③日本教会の意向：聖地の平和を祈る

教区の司祭、修道者、信徒の皆さん、新年あけましておめでとうございます。昨年も多大のお祈りとご協力とご厚情をいただき、心から感謝申し上げます。本年もどうぞよろしく願っています。

1 信徒発見150周年と教区代表者会議

さて、2015年に信徒発見150周年を迎えます。この機会に、信徒発見に至るまでの長崎の教会の歴史、特にその後の歩みと現状を振り返り、目標にしている「参加し、交わり、宣教する教会づくり」を視野に置きながら、「長崎教区を将来に向けて具体的にどうするか」という大きな問題について、聖霊の導きのもと「教区全体で考え、知恵を出し合って、具体的な方向づけ」を定めたいと考えています。そのためには、「教区シノドス」、すなわち「教区代表者会議」の開催が有効です。今年はまず準備委員会を設置し準備会議を開きます。来年は、第1段階として、各小教区評議会、各種団体(教区諸委員会、各修道院、婦人会、各種共同体、各種活動団体など)で話し合ってください。2012年の第2段階では、各地区評議会、各地区司祭集会、各修道会、修女連、連合婦人会などで話し合い、さらに2013年の第3段階では、教区顧問会、司祭評議会、教区評議会、教区経済評議会などで議題と具体策を話し合ってください。2014年の最終段階で、教区代表者会議(教区シノドス)を少なくとも数回に

聖書に親しむ試み

愛読マラソン中間報告会



昨年10月4日に始まった第7回聖書愛読マラソンの中間報告会が、12月13日カトリックセンターで行われた。共同体で読み進める初の試みに戸惑いの声も聞かれる中、7地区の代表者が地区、小教区での取り組みを報告し、3月の期間ゴールを目指す思いを新たにしました。

わたって開催します。いずれ、司祭評議会、教区顧問会議などに諮った上で「教区代表者会議開催要綱」を発表いたします。

2 「神のことば」に親しみ、生き、分かち合う

会議も大切ですが、話し合うためには福音に基づいたものの見方や考え方を身につけなければなりません。すなわち、教会や信仰生活などについてのキリストのお考えをよりよく知り、なおかつわたしたち一人一人と共同体が、キリストの弟子つまり「キ

年頭教書

あなたの御言葉がわたしのものとなるために

大司教 高見 三 明

リスト信者」の名にふさわしい生き方をすることが重要です。教区の活性化はわたしたちの心と生き方の絶えざる刷新にかかっています。そのために、神のことばに親しみ、生き、分かち合うことが必要なのです。預言者エレミヤは、神にこう祈っています。「あなたの御言葉が見いだされたとき、わたしはそれをむさぼり食べました。あなたの御言葉は、わたしのものとなり、わたしの心は喜び躍りました。」(エレミヤ15・16) エゼキエルも巻物(神のことば)を食べてから語るように命じられました(エゼキエル

さんが熱心に取り組んでおられるようで大変うれしく思います。この方法をしばらく続ける一方で、やつてみたいと思う人たちがいてくれる一方、5・10人のグループをつくり、司祭の指導のもとに、できれば毎週、少なくとも隔週に集まって「セブンスステップ」という方法を用いて、聖書を読み、自分の生活と結びつけて思い巡らし、気付けられたことを互いに分かち合うことを勧めます。考えを分かち合うことは、行動の分かち合いへと向かいます。「小共同体」はこうしてつくられます。「聖書百週間」も勧めたいです。

2010年のキリスト教一致祈禱週間が、1月18日(月)〜25日(月)に全世界で行われる。今年のテーマは「あなたがたはこれらのことの証人となる」(ルカ24・48)。カトリック中央協議会と日本キリスト教協議会は、

第15回 日韓司教交流会

今回は11月17日〜19日大阪で開催された。韓国司教団からは大半の14人、日本からは全司教17人が参加した。

初日の夕方、カテドラル近くのホテルで故ソウル大司教金壽煥(キム・スーハ)の枢機卿追悼のDVDを見て感銘を受ける。翌日は、大阪教区の司祭月例集会に合せて、多数の信者



も加わり、カテドラルで姜(カン) チェジュ教区司教の金枢機卿に関する講話と本田哲郎神父による講話を聞き、共にミサをささげた。

26聖人殉教記念ミサ

2月7日(日) 14時

西坂公園

(雨天時・中町教会)

叙階式

2月21日(日)

浦上司教座聖堂

「司祭年」閉幕日の訂正

教皇庁聖職者省発表の司祭年閉幕ミサプログラムの日付が、2010年6月11日に訂正された。

3・1・11。黙示録10・8・11参照。神のことばを「食べる」というのは、まさに聖書をむさぼり読み、「心におさめ」(エゼキエル3・10。ルカ2・19、51参照、神のことばがその人の考え、言葉、行いを通して見えるようになることです。

2003年以来、教区主導で実施してきた個人参加の「聖書愛読マラソン」には延べ2197人が参加しました。これと並行して、去る10月4日に各地区の枠内で小教区ごとに行う愛読マラソンの開会式を大司教館で行いました。方法はさまざまですが、皆

昨年6月から1年間は「司祭年」でもあります。教会共同体が「祭司」である(1ペトロ2・9。黙示録1・6、5・10)という教えを理解することも、教区代表者会議に向けて大切なことです。祭司とは神と人間との仲介者のことで、洗礼を受ける人は、キリストの祭司職にあずかります。ところで、生活とことばの証しによって人々に福音を伝える「預言職」は、彼らが信じて洗礼を受け、感謝の祭儀において生活の霊的実りをささげることを目指しています。「王職」は、自己放棄と聖なる生活によって自分の中にある罪の支配に打ち勝ち、社会を福音にかなったものにするために人々に奉仕して彼らを真の王であるキリストに導くことです。さらに祈り、結婚と家庭生活、仕事、教会活動、休暇、刷新された世そのものを、感謝の祭儀において、神への賛美と人々の救いのための供え物としてキリストを通して父である神に献げます(ローマ6・12・13、12・1)。これが、「共通祭司職」であり、預言職も王職もこれに秩序づけられています。司教司祭の教え、聖化し、治める権能(役務的祭司職)は、神の民が共通祭司職を忠実に十分果たすことができるよう「奉仕するために」与えられています。神の御言葉は、それを素直に受け入れる人の中で働き(1テサロニケ2・13)、何倍もの実を結びます(ルカ8・8、15)。長崎の教会が、この1年、このように成長しますように。

世界教会協議会と教皇庁キリスト教一致推進評議会が共同発行した資料に

キリスト教一致祈禱週間

祈禱週間を前に長崎では、長崎キリスト教協議会(TEL095・823・2484)まで申し込みが必要。

紛争によるキャンプ生活ダルフール国内避難民への支援呼び掛け

カリタスジャパン



キャンプで生活する避難民の子ども

ロテスタント・ギリシヤ正教系の国際援助組織と共同で支援プログラムの

ほしかな...

今年も教区の動きを的確に伝え、小教区の明るい話題を積極的に掲載してまいります▼年末に腰に痛みが走り、「ぎっくり腰か」と思わせる1日があつた。結果的には、腰に急激な負荷を掛けたことで、弱っている筋肉が悲鳴を上げていたのだ。が、みっちり14時間苦しむ間にあれこれ考えさせられた。ひとことで言うと、年齢を重ねなければどうしても気付かない面もあるということだ▼半日、ゆつくりとしか平地を歩けず、階段も1段移動しては「いたたた」と言い、腰を曲げようとして冷や汗が出る。自分は短期間だったけれども、常にこういう状態で日曜日のミサに通う人、ミサの依頼など司教館に用事をしに来る人は、どれだけの痛みをささげて信仰しているだろうか▼痛いの、それを隠して笑顔を保ちたい人もいるに違いない。すれ違った人と会釈しても痛みが走る経験をして、「人にしてもらいたくないと思うことを人にもしなさい」(ルカ6・31)とは思わなければならない。笑顔など作れやしない。その、自分の十字架を背負って人に笑顔を届けている人を、一体どれだけ気付かずやり過ぎてきたのだろうか▼先頭を走っている人は先頭のことしか考えていない。後続を気遣うことなく突っ走って、先頭に立って正しいことを実践してきただと考えていたのは思い上がりではなかったか。お年玉プレゼントは、大変高価なものをいただいた。

	アキラール・J・ホセ60	ディラス・マヌエル49	●コンベンツアル 聖フランシスコ修道会	立山修道院	灌　憲志(44)	山下公輝(31)	瀧田盛雄(50)	内野洋平(6)	中島優彦(45)	萩原栄三郎(45)	末吉矢作(55)	古川和雄(48)	大水恵一③	赤尾満治(16)	●聖アウグスチノ修道会 マイケル・ヒルデン⑥城山モリス・マホン二④9〃	山野聖嗣(4)	●レデンプトール会 克志(18)	頭島光②2	石田望(6)	谷津良勝(42)	冷水義美(57)	片岡仁志(47)	伊能哲大(6)	●神言修道会 エウゲニウス・ジェブーラ②2西町	ロレンゾ・ホセ・ルイス②0	ロボ・フェリックス(7)〃 ジョージ・ボミア・ボサカイオ③	村上進③9長崎修道院	松本勝男(18)南山学園	高田裕久(17)小ヶ倉	木村昌平(6)〃	尾崎明夫(24)長崎	●マリヤ会 善彦(40)海星学園	山崎善彦(40)海星学園	高田裕久(17)小ヶ倉	松本幸徳②2小ヶ倉共同体 海星学園	●サレジオ修道会 愛野	古木眞理一②2愛野	亀沢経水(49)	イエスのカリタス牧野修道院	●オブス・デイ 千夫(13)長崎	小寺左千夫(13)長崎	尾崎明夫(24)長崎	木村昌平(6)〃
--	--------------	-------------	------------------------	-------	----------	----------	----------	---------	----------	-----------	----------	----------	-------	----------	--	---------	---------------------	-------	--------	----------	----------	----------	---------	----------------------------	---------------	----------------------------------	------------	--------------	-------------	----------	------------	---------------------	--------------	-------------	----------------------	----------------	-----------	----------	---------------	---------------------	-------------	------------	----------

列福一周年答礼巡礼団、バチカンへ



ベネディクト16世教皇

ベトリ岐部司祭と187殉教者列福1周年を記念し、答礼のための巡礼団がバチカン、イタリアへ向け、昨年11月24日長崎を出発した。長崎教区・公式巡礼団は高見大司教と橋本 勲、中村満両神父を含む16人。



司祭・信徒が待っている様子

25日は日本からの公式巡礼団(司教協議会企画による)約160人と合流、全巡礼団はバチカン・聖ペトロ大聖堂やシステイナ礼拝堂を参観、最大の目的であるパウロ6世ホールでのベネディクト16世教皇との謁見、



長崎大司教区の巡礼団

答礼を果たし、聖遺物を奉納した。その後、バチカン関係者を招いての列福感謝の夕べが行われた。26日はローマ市内各地を巡礼。そのひとつ、天正遣欧少年使節が訪れたというサンタ・マリア・デッロルト教会では、昨年10月

戦後65からし種・パン種

「核なき世界」オバマ米大統領にノーベル平和賞。被爆地広島・長崎の五輪招致。民主党中心の連立内閣発足。普天間基地移設問題では沖縄が揺れる。一方、カトリック界はNICEIから20年。パウロ年、ベトリ岐部と187殉教者の列福。司祭年。「長崎の教会群」世界遺産登録暫定リスト入りによる信仰と観光の両立。複雑な社会の波。戦後65年の今年、それぞれの分野で活動する人の意見を自由課題で執筆してもらった。

被爆者、永井隆博士を偲ぶ

本島 等

永井博士が『長崎の鐘』に原爆は神の御摂理、神の恵みと書いて、たいへんな非難、批判を浴びた。破壊され、焼き殺された浦上を神の恵みとは何事かというのだ。

日本芸術院会員で日本ペンクラブ前会長、井上ひさし氏は、『ベストセラーの戦後史』(文藝春秋)で、言葉を尽くして永井博士をこき下ろした。

「(永井博士の)『この子を残して』をはじめとする随想集の特徴だった



1922年、五島生まれ。京都大学工学部卒。長崎南山高などで教諭。長崎県議。長崎市長。1988年「天皇(昭和)に戦争責任はあると思う」と市議会で発言し、右翼団体などから脅迫を受けていたが、市役所前で右翼団体幹部の男に短銃で撃たれ重傷を負った。長崎市桜馬場居住。中町教会所属。

に祝福され協賛壇に掲げられた中浦ジュリアンの絵も鑑賞できた。絵の制作者・三牧権子さんも巡礼団の一員で、一同、感動もひとしおだった。27日以降は聖フランシスコの故郷アシジ、ボローニャ、ベネチア、ミラノなど遣欧使節が訪れたコースをたどり、列福感謝の巡礼を終え、12月3日帰した。

コンベンツアル聖フランシスコ修道会創立800周年記念祭(長崎・本河内)



イエス・キリストへの本物の巡礼道をきくと見据えていたのだと思います。福者の華やかな箱物や熱烈歓迎のみならず、その背後に

は分裂し、真の平和に生きたらぬこともあった。神さまの愛情に心を開き、弱さを認め合って歩むとき、真の平和と一致を分かち合う者となります。と平和を伝える聖フランシスコの心情を説いた。

この後、記念祭を迎えて心に留める祈りを崎濱管区長の先唱でささげた。聖堂壁面にはアシジの聖フランシスコ大聖堂にある、ジョットおよびジョット工房作「聖フランシスコの生涯」を描いた壁画作品(コピー)が展示され、鑑賞者の目を引いていた。(写真は記念ミサで聖体拝領を受ける信徒)

聖母の騎士修道女会 誓願式 11月23日10時半から、諫早市小長井町の本部修道院聖堂で高見三明大司教司式のもと終生誓願式が行われた。

人會(会長納富美紀さん)役員と指導司祭山内 実師が高見大司教を訪ね、850万円を献金、大司教から感謝の言葉が述べられた。 献金は教区内の婦人會員から09年6月〜同10月まで寄せられたもので神学生養成のために使われる。

「平戸ザビエル祭」

「ザビエル、この一粒から」。11月22日。朝7時に生月を出発した20名の徒歩巡礼に参加した人は延べ80人。2歳児と歩く若い夫婦。ロザリオをトネルに響かせた小学生の親子と祖母。修道女



「ザビエル、この一粒から」。11月22日。朝7時に生月を出発した20名の徒歩巡礼に参加した人は延べ80人。2歳児と歩く若い夫婦。ロザリオをトネルに響かせた小学生の親子と祖母。修道女

短 信

竹山 広さん(西彼時津町、西町教会所属) 12月17日、現代歌人協会主催の第32回現代短歌大賞を受賞。

賞作は「一昨年秋に出版された歌集『眠ってよいのか』と、これまでの業績に学び倣う決意を表明し

て、派遣の祝福を頂いた。青年たちは早速、次への準備に取り掛かっていた。参加者は20人。「この一粒」からの始まり。

援団で熱気に包まれる中、合唱を通して神さまを賛美する感謝の1日となった。今年の優秀賞は中町植松、浦上の3教会。

マリア

白浜 マシ修道女 (お告げのマリア修道会)

11月4日、五島市みみらくの里にて帰天。98歳。



五島市三井楽町生まれ。昭和5年三井楽修道院入会。

主に地域の教え方として、信徒の信仰教育に力を注いだ。晩年は病苦を

マリア

樽角スミエ修道女 (お告げのマリア修道会)

11月12日、五島市聖マリア病院にて帰天。85歳。



五島市岐宿町に生まれ、15歳で水の浦修道院入会。主に保育事業を通して、地域の幼児教育・信仰教育に力を注いだ。

徹しさと温かさを兼ね

備え、接する人に慕われた。 葬儀ミサ・告別式は14日、水の浦教会で行われた。

「ながさき巡礼月間」 列福式1周年記念行事

「ペトロ岐部と187
殉教者列福式」1周年を
記念する「ながさき巡礼
月間」が、昨年11月28日
から始まった。

（浦上コース）巡礼団約
50人は本原教会、十字架
山、聖ヨゼフ堂跡（十字
修道院）、最終地・浦上教
会境内では萩流配者ゆか
りの「拷問石」を訪れた。
29日はデ・ルカ・レンゾ
師の講演「ペトロ岐部
その揺るがぬ歩み」、高
見大司教司式ミサがあつ
た。

（中町コース）12月5日
県庁前に集合。中町教会



巡礼ウォーク（浦上）



デ・ルカ・レンゾ師

た。6日は古巣 警師の
講演、高見大司教のミサ
と続いた。



金鰐谷に登る巡礼者

修道会日本分署長・今
田昌樹師から、トマス金
鰐次兵衛神父の召命につ
いて講演、高見大司教司

殉教地「古賀」に 記念碑建立の動き

このほど
東長崎教会
（内野洋平
主任司祭）
では、地元
・古賀の歴
史を忘るに
去ることな
いようにと
「殉教地・
古賀に記念
碑を建てよ



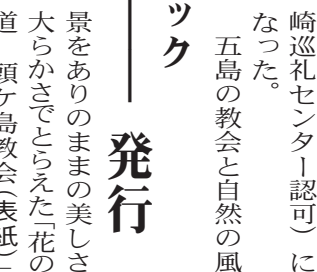
福瑞寺敷地内にある墓石

式のミサが行われた。
（大浦コース）19日はデ
イオゴ結城了雪神父と
故・結城了悟神父をテー

う」と呼び掛け、取り組
みを始めた。
1549年キリスト教
が日本に伝えられて以来、
古賀には諫早を含め5つ
の天主堂が建てられキリ

マに巡礼、20日の講演と
ミサをもって「月間」は
終了。巡礼ウォークは延
べ200人超が参加した。
スト教が栄えた。しかし
禁教令後、松倉豊後の守
重政が島原・古賀を支配
下においてからは、東長
崎地区のキリシタンも厳
しい拷問の末に処刑され
1630年代にはほぼ絶
滅。今では関係資料や史
跡も少なく、当時の古い
蒲鉾型の墓碑が2基残る
のみとなった。将来、東
長崎地区におけるキリシ
タンの歴史、殉教の事実
が忘れ去られてしまうの
ではと心配される。
古賀の殉教者の中には
福者ミゲル喜左衛門（2
05福者）ら3人の福者
点が見え隠れしている。
中通島で見た夕日に感
銘を受け、五島を撮り始
めて10年。
「もつと五島（ふるさと）
の人たちを、時間をかけ
撮りたいという気持ち
が深まっています。いつま
でも五島の青い空、紺碧
の海、まばゆい程の光、
風の匂い、人のぬくもり
が変わることのないよう
に願っています」
と峰脇さん
の思いが伝わら
れている。サン
パウロ書店他で
取り扱い。定価
1260円。

桐教会出身で東京在住
の写真家、峰脇英樹さん
（45）が撮影した写真が
「ポストカードブック
五島列島」
1冊のポストカードブック
「五島列島」Rosary
Road 祈りの道」長
崎巡礼センター認可）に
なった。
五島の教会と自然の風
景をありのままの美しさ、
大らかさでとらえた「花の
道」頭ヶ島教会（表紙）



「矢張り目の夕日」など28
の何十倍も大きな声で
お祈りを唱え、聖歌を
歌っていました。心を合
わせ喜びに溢れたあの歌
声は10年たった今でも耳
に残っています。鯛ノ浦
の保護者の方も日ごろこ
こまで大きな声で歌うこ
とはなかったと言われ、
本当に気持ち一つに
なっていたんだなと思
いました。そこには神さ
まの大きなお導きがあつ
たのでしょう。
またいつかあのような
生き生きとした喜び溢れ
る子どもたちの聖歌を聴
きたいと願っています。
（平松信子）

新刊良書

★教会の社会教説概要
著者・教皇庁正義と平
和評議会 訳マイケル・
シーゲル（神言修道会）
1891年の教皇レオ
13世回勅「レールム・ノ
ヴァルム」発布以後、教会
は社会に対するその使命
を、変容を重ねる状況を
踏まえ常に考察してきた。
多くの回勅や使徒的勧告
あるいは第2バチカン公
會議文書によつて表現さ
れ蓄積されてきたそれら
社会教説を受け、本書は
初めて公式に統一した形
で教会の教えを説いている

発行 サンパウロ
定価 3675円。

★もしも天国のマザー・
テレサが君のそばにいた
ら 中井俊巳著

2010年はマザー・
テレサ生誕100年にあ
たる。本書は、心に響く
マザーの言葉や感動的な
エピソードを特に若い人
に向けてまとめた本。人

西暦2千年の大聖年。
あれからもう10年になり
ます。この年大聖年を記
念して教区全体から小中
学生を集め「子ども大会」
が行われました。大村で
のこの大会に参加するた
めに、五島の鯛ノ浦教会
の7人の子どもたちが早
岐教会に来てくれました。
また、それまで早岐教会
はこのような大会になか
な参加することがなく、
久しぶりの大きな行事に
信者総動員で準備に取り
掛かってくださいました。
子どもたちは夏休み中
毎日の朝ミサ後、球技の
練習にあけくれ、また交

みことばにふれて 早岐教会学校スタッフ



5校の学校から集まって
いて、教会へもほとんど
保護者の車なので残って
遊ぶこともなく、まとも
たので、こちらの心配が
拍子抜けするくらい子ど
もたち同士すんなりと打
ち解けていました。鯛ノ
浦の子どもたちも不安も
あったでしょうが、みん
な素直で明るく、逆にこ
ちらの緊張を和らげてく
れました。
大会当日はよくぞこれ
ほど集まったか！とい
うほどの子どもたちが溢
れかえり、またこの全員
が信者！ということに
感激したことを覚えてい
ます。猛練習のかいあつ
て、成績はまずまず。夜
はバーベキューと花火で
大盛り上がりでした。一
番のハイライトは夜のお
祈りの時。気持ちも高揚
していたのか、全員いつ

もの何十倍も大きな声で
お祈りを唱え、聖歌を
歌っていました。心を合
わせ喜びに溢れたあの歌
声は10年たった今でも耳
に残っています。鯛ノ浦
の保護者の方も日ごろこ
こまで大きな声で歌うこ
とはなかったと言われ、
本当に気持ち一つに
なっていたんだなと思
いました。そこには神さ
まの大きなお導きがあつ
たのでしょう。
またいつかあのような
生き生きとした喜び溢れ
る子どもたちの聖歌を聴
きたいと願っています。
（平松信子）

長崎の教会群の姿を
とらえた「写真展」
長崎クリスマス 長崎
の教会群の写真展（主催
II世界遺産長崎チャーチ
トラスト、後援II長崎大
で昨年12月2〜8日まで
開催された。
ギャラリイには聖堂内
で祈る信徒、毎年1回ミ
サがささげられる上五島
若松島の洞窟。船から上
陸し、急な岩場を登る修
道女（写真）など40
数点を展示、観覧者
の目を引き付けてい
た。
出品者は佐世保市
出身の写真家中倉壯
志朗氏で布教から禁
教、弾圧と迫害、そ
して潜伏、復活とい
うキリシタン史は、
後世に残す貴重な歴
史と、カメラで追
い続け、これまで福岡、
佐世保などで写真展
を開催している。

主の平安

株式会社 五島式典社(斎場) 五島中央会館 留 会 館

代表取締役 ヨゼフ 浦 昭

24時間営業

五島市上大津町 1385 番地 1 TEL (0959) 74-5551

FAX (0959) 74-5552

五島市奈留町浦 1899-1 TEL (0959) 64-3101

FAX (0959) 64-3102

主の平安

カトリック式葬祭・飾付一式

(有) 栄光式典社

代表取締役 ヨハネ 西村 勇二

長崎市辻町 7-18 TEL (095) 844-4011

24時間営業 FAX (095) 843-9896

砕石・栗石・港湾用捨石一式生産販売

たつみ産業株式会社 西田商事株式会社

代表取締役 ミカエル 西田 寛己

本社 〒857-1166 佐世保市木風町1468番地

TEL (0956) 31-8268

主の平安

カトリック式葬祭・飾付一式

(有) 栄光式典社

代表取締役 ヨハネ 西村 勇二

長崎市辻町 7-18 TEL (095) 844-4011

24時間営業 FAX (095) 843-9896

墓地改修・新設 個人のご相談も承ります

実績 城山教会墓地 飽の浦教会墓地

浜串教会墓地 青砂ヶ浦教会墓地 他 多数

(有)長崎大理石 社長 ヨハネ 濱本直行

本社 長崎市つづじが丘5-1-15 (TEL) 095-839-0374

加工工場 諫早中核工業団地

なが さき せき ちょう

長崎石彫

ヨゼフ 岩永 博明

☎(095) 862-2469

長崎市梁川町 6-17 岩永ビル

交通誘導警備 常駐警備 イベント警備

(有) 小田警備保障

警備員募集!

電話 095-856-6524 FAX 095-856-6523

長崎市横尾3丁目31-15 代表取締役 テレジア 小田 睦

専務取締役 パウロ 小田 睦

マイホームの美容と健康に!

(有) 山川 塗装

有限責任中間法人 全国住宅火災防止協会

長崎県建物営繕工事業協同組合理事

代表取締役 ペトロ 山川 進

佐世保市原分町1715-5

TEL (0956) 49-3330 FAX (0956) 49-8729